

和光市行政経営方針

本年5月、これまでの市政を継承し、さらに前進させ、誰もが輝ける和光市をつくっていくことを目指し、市長としての任期をスタートさせていただきました。

我が国における、急激な人口減少、少子高齢化、そして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大といった社会状況の急激な変化は、人々の価値観から働き方、ライフスタイルに至るまで様々な影響を及ぼしています。まさに今、社会の転換期を迎えています。

本市におきましても、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、市民生活や地域経済に大きな影響が及んでいます。そして、本市の行財政運営につきましても、非常に厳しさを増しています。

一方で、本市は、全国的に人口減少が進むなか、若い世代の流入が続き、人口は増加傾向にあり、地理的優位性や交通利便性もあり、未来に向けて大きなポテンシャルを秘めています。魅力と安全安心に加え、安定した行財政経営を可能とする「エンジン」を備えたまちづくりを着実に進めていくため、第五次和光市総合振興計画で「描く未来の実現に向けた基本戦略」に位置付けた8つの基本戦略を推進し、将来都市像「みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光」を実現してまいります。

特に、以下の直面する3つの課題についてはスピード感を持って取り組みます。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策
- ② 元幹部職員による不祥事の原因究明と再発防止策の実施
- ③ 時代の転換点に合わせた市役所経営

また、財政については、現在危機的な水準にある財政調整基金の残高水準を、第五次和光市総合振興計画において目標として定めた標準財政規模の10%の水準とすることを目指すなど、健全化を図っていきます。

これまでの市政のビジョンは継承していきますが、すべての政策をトレースしていくということではありません。市民の声を真摯に聞き取り市民に寄り添い、市民と協働で政策を展開していく行政スタイルは踏襲し、個別政策については社会状況の変化を適切に踏まえ、時代の潮流に適した政策展開を実施していきます。

「一步前へ」と進むために、とにかくやってみる「チャレンジ精神」が大切です。誰もが輝ける和光市をつくっていくため、失敗を恐れずに果敢に取り組みます。

市長任期における市としての経営の方向性を示すとともに、総合振興計画実施計画の策定の指針として、「和光市行政経営方針」をここに定めます。

令和3年7月20日

和光市長 柴崎 光子